

令和元年度(2019年度)  
建築物環境配慮制度(CASBEE 札幌)届出状況のまとめ

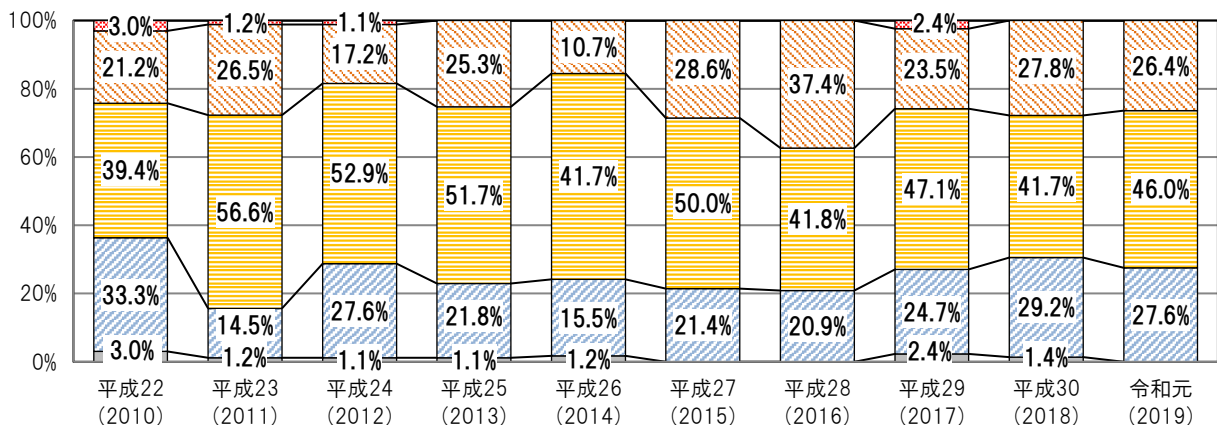
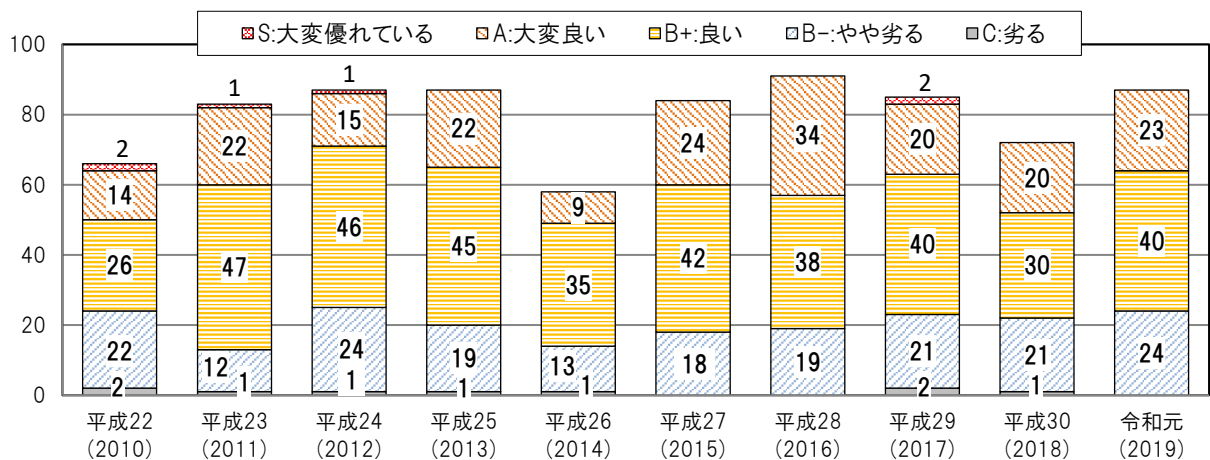
札幌市では、環境に配慮した建築物の推進を目的に建築物環境配慮制度を条例で定めています。この資料は、令和元年度(2019年度)に届出のあった、CASBEE 札幌による自己評価の結果をまとめたものです。

1 令和元年度(2019年度)の届出の概要

- ・ 届出数は 87 件あり、前年度より 20.8%増加しました。
- ・ ランク S(大変優れている)とランク C(劣る)の届出は 0 件でした。
- ・ そのほかのランクについては、A(大変良い)が 26.4%で前年度より 1.4 ポイント減少し、B+(良い)が前年度比 4.3 ポイント増加の 46.0%、B-(やや劣る)が前年度比 1.6 ポイント減少の 27.6%となりました。

単位:件

年度	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)
S:大変優れている	2	1	1	0	0	0	0	2	0	0
A:大変良い	14	22	15	22	9	24	34	20	20	23
B+:良い	26	47	46	45	35	42	38	40	30	40
B-:やや劣る	22	12	24	19	13	18	19	21	21	24
C:劣る	2	1	1	1	1	0	0	2	1	0
合計	66	83	87	87	58	84	91	85	72	87

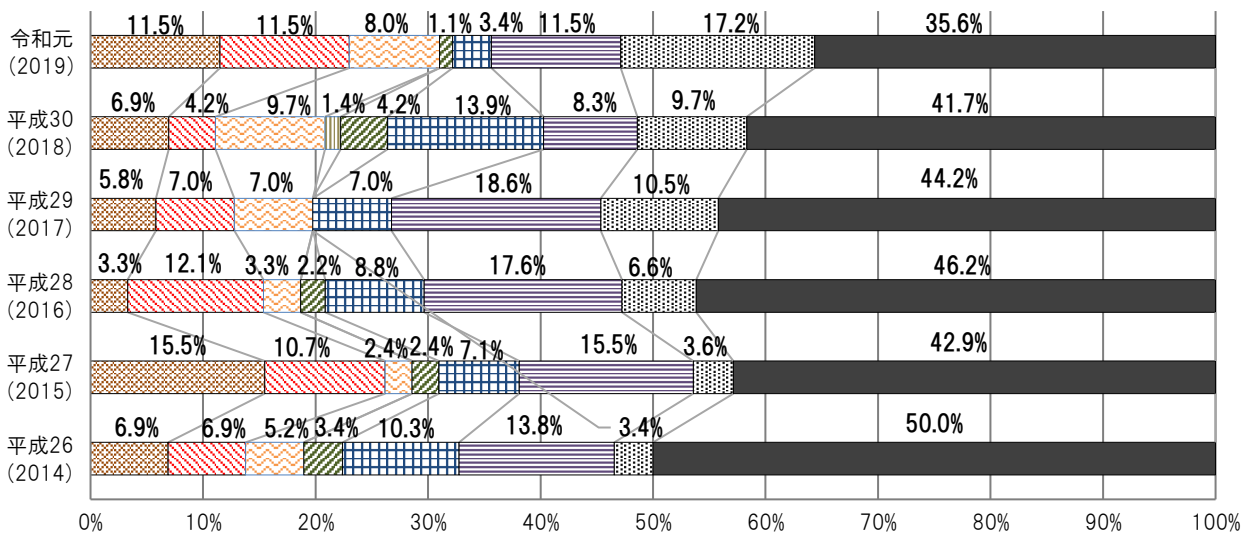
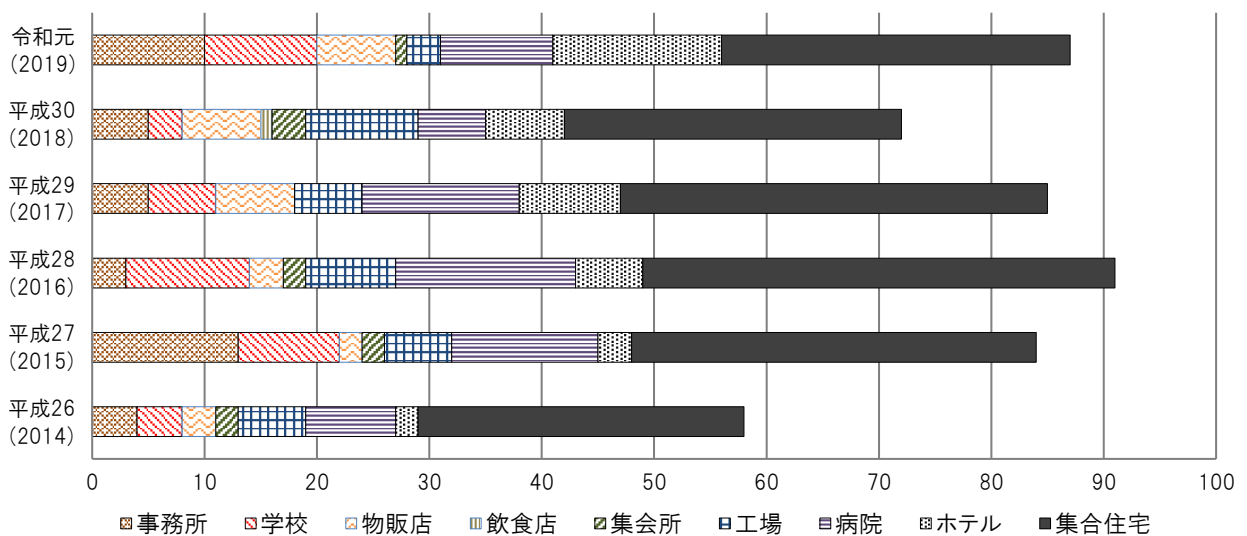


## 2 建築物用途別の申請数の推移

- ・ 用途別では、集合住宅が 31 件と最も多く、次いでホテルの 15 件、事務所、学校、病院が 10 件でした。また、昨年度は 10 件あった工場は、3 件の届出となりました。
- ・ 過去 5 年間との比較では、ホテルが 15 件と最も多く、昨年度より 8 件増えています。

単位:件

年度	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)
事務所	4	13	3	5	5	10
学校	4	9	11	6	3	10
物販店	3	2	3	7	7	7
飲食店	0	0	0	0	1	0
集会所	2	2	2	0	3	1
工場	6	6	8	6	10	3
病院	8	13	16	14	6	10
ホテル	2	3	6	9	7	15
集合住宅	29	36	42	38	30	31
合計	58	84	91	85	72	87

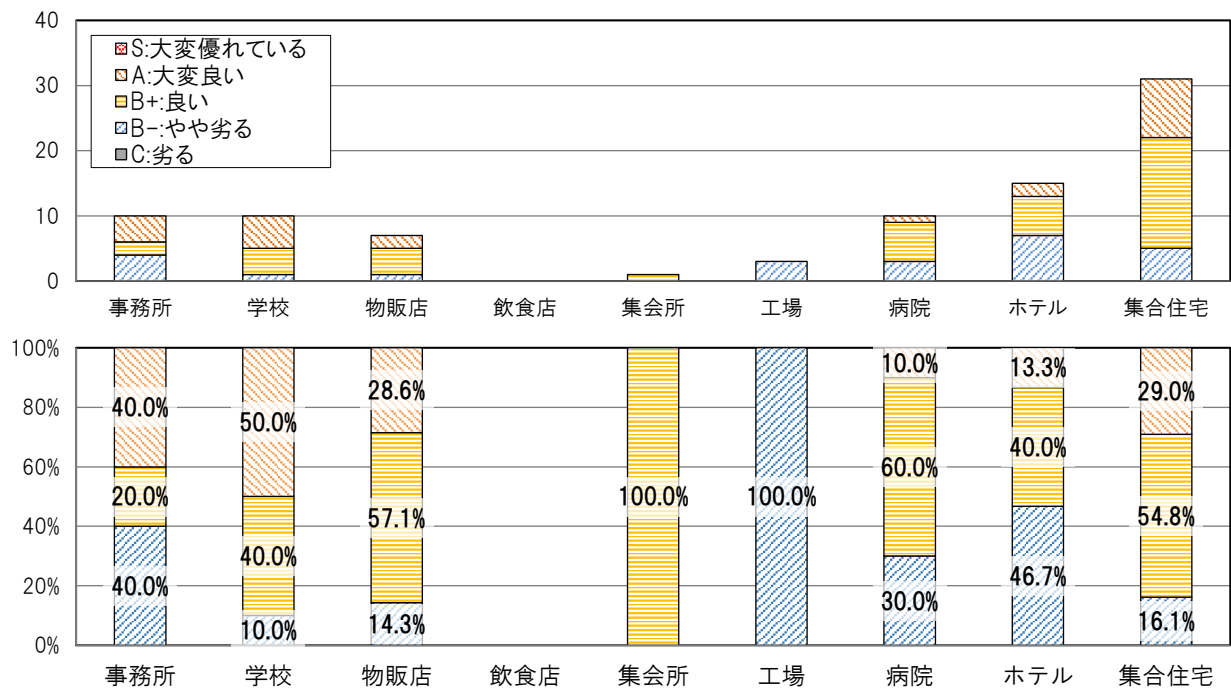


### 3 建物用途別のランクの変化

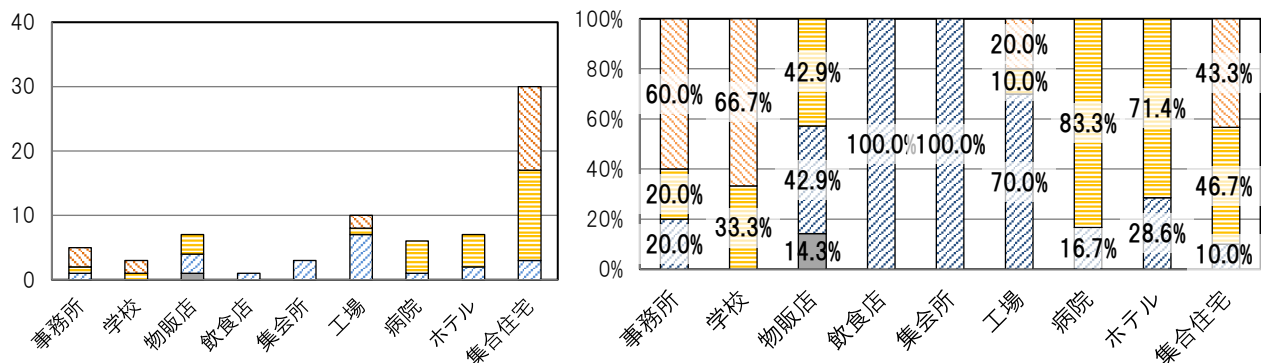
- ・ 物販店は、昨年度に比べ C ランクの申請がなく、A ランクの届出が 2 件ありました。
- ・ ホテルは、昨年度はなかった A ランクの届出が 2 件ありましたが、B-ランクの届出も 7 件と昨年度より 5 件増加しています。
- ・ 集合住宅は、昨年度に比べ A ランクの届出が減り、B+ランク以下の届出が増えました。

単位: 件

ランク	S:大変優れている	A:大変良い	B+:良い	B-:やや劣る	C:劣る	合計	
事務所	0	4	2	4	0	10	11.5%
学校	0	5	4	1	0	10	11.5%
物販店	0	2	4	1	0	7	8.0%
飲食店	0	0	0	0	0	0	0.0%
集会所	0	0	1	0	0	1	1.1%
工場	0	0	0	3	0	3	3.4%
病院	0	1	6	3	0	10	11.5%
ホテル	0	2	6	7	0	15	17.2%
集合住宅	0	9	17	5	0	31	35.6%
合計	0	23	40	24	0	87	100.0%



(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果

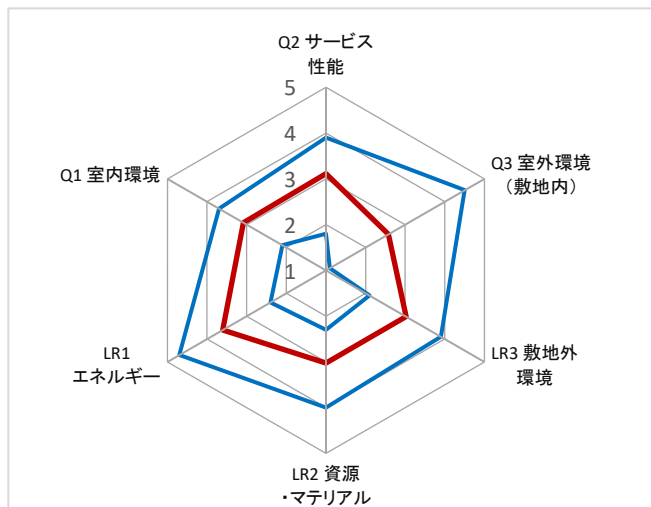


CASBEE 札幌では、下記の表に示す 6 の配慮項目による評価をしており、評価点は 3 を標準に 1 から 5 までのレベルで行っています。

下記のグラフ・表は昨年度申請のあった建物について、各項目の平均点及び最低、最高点を示したものです。

**【概要】**

- ・ LR1 エネルギーは、昨年度と同様に平均 3.60 とほかの項目より高く、最低は昨年より 0.9 ポイント高い。
- ・ Q1 室内環境は、平均 3.09 であり、標準の 3.00 を上回り、昨年より 0.15 ポイント高い。
- ・ Q3 室外環境(敷地内)は、平均 2.58 であり、昨年同様標準の 3.00 を下回っている。

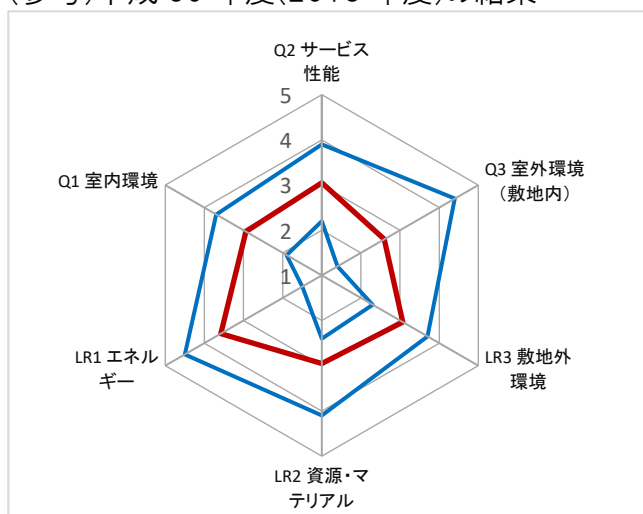


全体 件数:87

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.09	2.10	3.70
Q2 サービス性能	3.11	1.80	3.90
Q3 室外環境(敷地内)	2.58	1.10	4.50
LR1 エネルギー	3.60	2.40	4.70
LR2 資源・マテリアル	3.03	2.30	4.00
LR3 敷地外環境	3.02	2.10	3.90

	平均	最低	最高
BEI	0.81	1.00	0.52

(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果



全体 件数:72

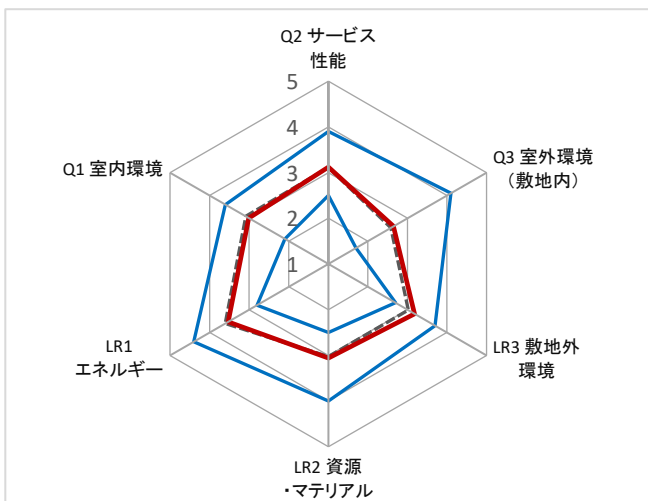
配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	2.94	1.90	3.70
Q2 サービス性能	3.05	2.20	3.90
Q3 室外環境(敷地内)	2.60	1.40	4.40
LR1 エネルギー	3.58	1.50	4.50
LR2 資源・マテリアル	2.95	2.40	4.10
LR3 敷地外環境	3.07	2.30	3.70

	平均	最低	最高
BEI	0.80	1.31	0.22

最大:青線 最低:青線 平均:赤線

**[事務所]**

- ・ Q3 室外環境(敷地内)について、昨年より低く、平均は 2.65 と標準 3.00 を下回っている。
- ・ LR1 エネルギーについては、昨年度より最低が 0.4 ポイント下がっているが、最高は 0.5 ポイント上がっていた。

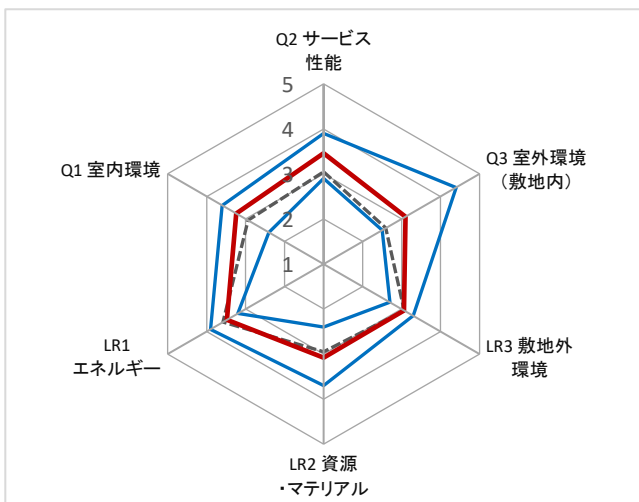


	平均	最低	最高
BEI	0.75	0.88	0.59

事務所 件数:10

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.01	2.10	3.60
Q2 サービス性能	3.12	2.50	3.90
Q3 室外環境(敷地内)	2.65	1.70	4.10
LR1 エネルギー	3.53	2.80	4.40
LR2 資源・マテリアル	3.06	2.50	4.00
LR3 敷地外環境	3.18	2.70	3.70

(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果



	平均	最低	最高
BEI	0.82	0.92	0.69

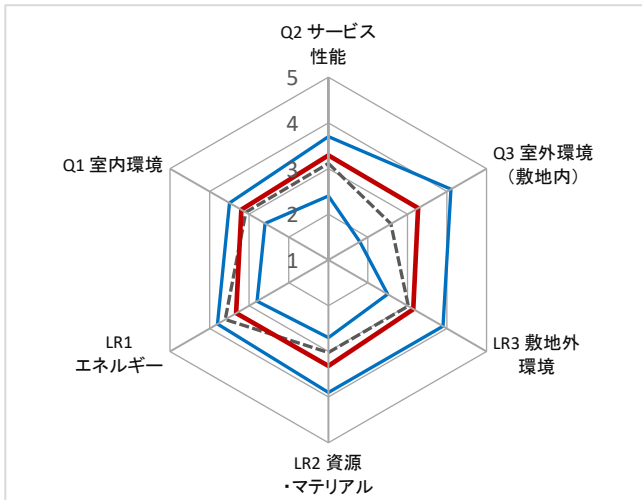
事務所 件数:5

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.24	2.40	3.60
Q2 サービス性能	3.46	2.90	3.90
Q3 室外環境(敷地内)	3.10	2.50	4.40
LR1 エネルギー	3.48	3.20	3.90
LR2 資源・マテリアル	3.08	2.40	3.70
LR3 敷地外環境	3.06	2.70	3.30

最大:青線 最低:赤線 平均:点線:全体の平均

**[学校]**

- 全ての配慮項目において、平均が標準 3.00 を上回っている。
- Q1 室内環境について、昨年度と比較し平均が 0.23 ポイント向上している。
- Q3 室外環境(敷地内)について、昨年度と比較し最低が 1.6 ポイントも低下し、平均が 0.46 ポイント低下している。

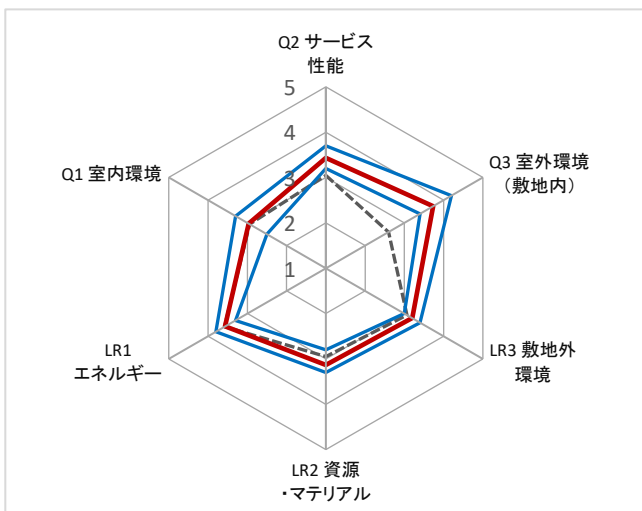


学校 件数:10

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.20	2.60	3.50
Q2 サービス性能	3.29	2.40	3.70
Q3 室外環境(敷地内)	3.27	1.80	4.10
LR1 エネルギー	3.33	2.80	3.80
LR2 資源・マテリアル	3.32	2.70	3.90
LR3 敷地外環境	3.15	2.50	3.90

	平均	最低	最高
BEI	0.79	0.92	0.67

(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果



学校 件数:3

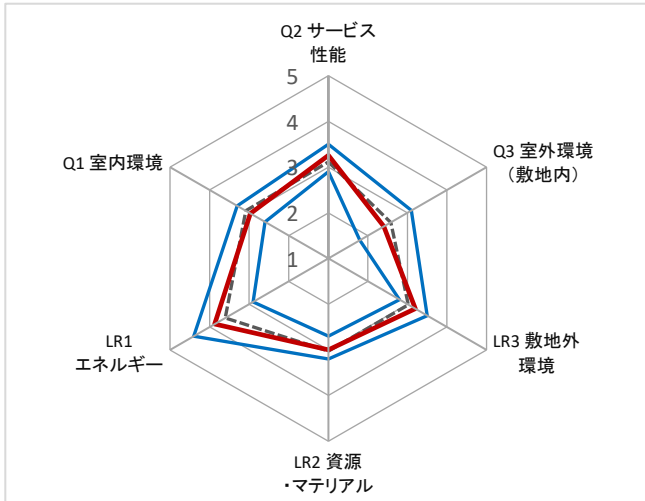
配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	2.97	2.50	3.30
Q2 サービス性能	3.43	3.20	3.70
Q3 室外環境(敷地内)	3.73	3.40	4.20
LR1 エネルギー	3.57	3.30	3.80
LR2 資源・マテリアル	3.13	2.80	3.30
LR3 敷地外環境	3.20	3.00	3.40

	平均	最低	最高
BEI	0.72	0.80	0.64

最大:青線 最低:赤線 平均:赤線 点線:全体の平均

**[物販店]**

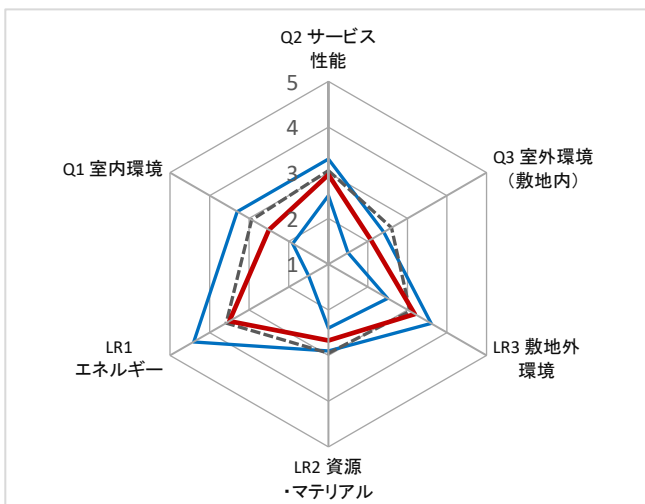
- ・ LR1 エネルギーについて、全体の平均を上回り、昨年度と比較し最低点が 1.4 ポイント高い。
- ・ Q1(室内環境)、Q3 室外環境(敷地外)については、平均 3.00 を下回っているが、昨年度と比較し全ての項目で平均が向上している。



物販店		件数:7		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	2.97	2.60	3.30
Q2	サービス性能	3.26	2.90	3.50
Q3	室外環境 (敷地内)	2.40	1.80	3.10
LR1	エネルギー	3.87	2.90	4.40
LR2	資源 ・マテリアル	3.00	2.70	3.20
LR3	敷地外環境	3.20	2.80	3.50

	平均	最低	最高
BEI	0.68	0.80	0.55

(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果



物販店		件数:7		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	2.50	1.90	3.30
Q2	サービス性能	2.96	2.50	3.30
Q3	室外環境 (敷地内)	2.07	1.50	2.40
LR1	エネルギー	3.50	1.50	4.40
LR2	資源 ・マテリアル	2.67	2.40	2.90
LR3	敷地外環境	3.19	2.50	3.60

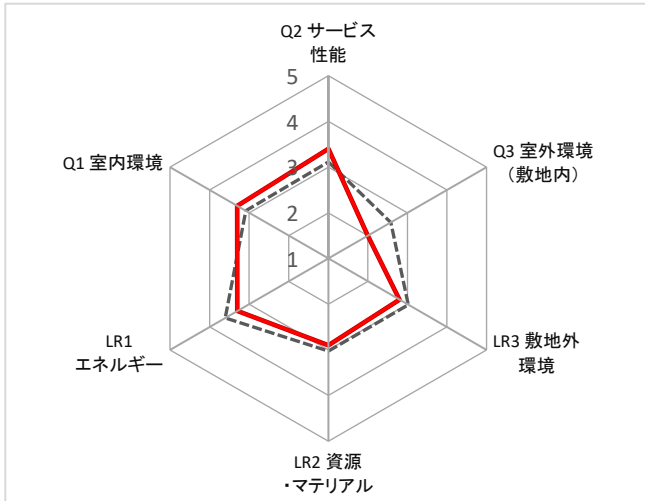
	平均	最低	最高
BEI	0.70	1.10	0.49

最大:青線 最低:青線 平均:赤線 点線:全体の平均



**[集会所]**

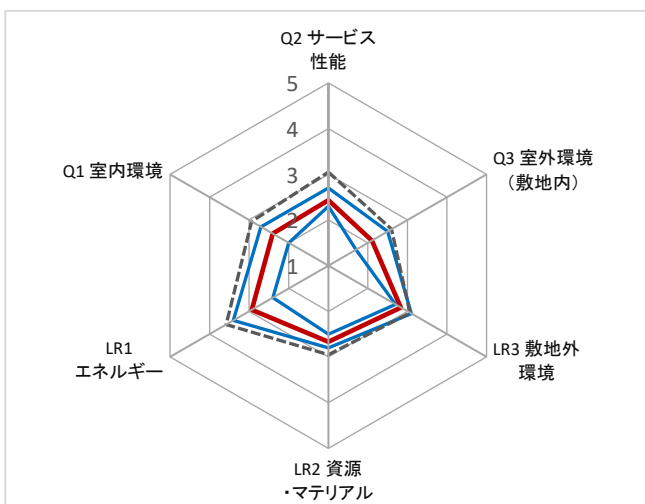
- ・ Q1 室内環境、Q2 サービス性能については、全体の平均を上回り、昨年度と比較し 0.90～0.97 ポイント高い。
- ・ Q3 室外環境については、平均 3.00 を 1.0 ポイント下回っている。



集会所		件数:1
配慮項目		
Q1	室内環境	3.30
Q2	サービス性能	3.40
Q3	室外環境 (敷地内)	2.00
LR1	エネルギー	3.30
LR2	資源 ・マテリアル	2.90
LR3	敷地外環境	2.80

BEI	0.94
-----	------

(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果



集会所		件数:3		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	2.40	2.00	2.70
Q2	サービス性能	2.43	2.30	2.70
Q3	室外環境 (敷地内)	2.10	1.70	2.50
LR1	エネルギー	2.93	2.40	3.40
LR2	資源 ・マテリアル	2.67	2.50	2.80
LR3	敷地外環境	2.83	2.70	3.10

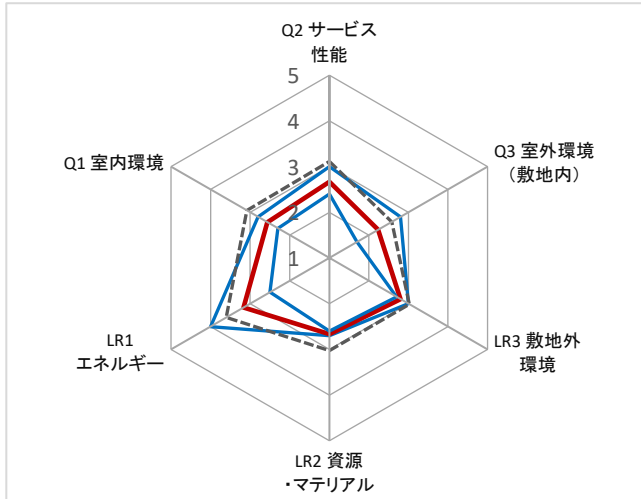
	平均	最低	最高
BEI	0.85	0.97	0.72

最大:青線 最低:青線 平均:赤線 点線:全体の平均



**[工場]**

- ・ Q3 室外環境(敷地内)とLR1 エネルギーについて、最高が全体の平均を上回っている。
- ・ 昨年度と比較し、全ての項目で最高が0.2~1.4ポイント低い結果となった。

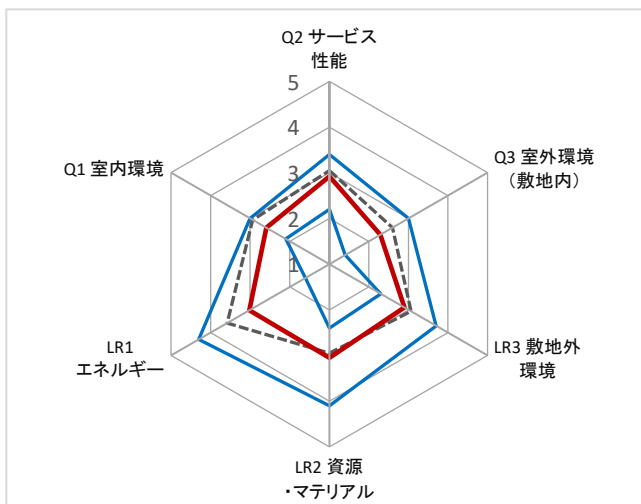


工場 件数:3

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	2.57	2.30	2.80
Q2 サービス性能	2.67	2.40	3.00
Q3 室外環境(敷地内)	2.23	1.70	2.80
LR1 エネルギー	3.17	2.50	4.00
LR2 資源・マテリアル	2.67	2.60	2.70
LR3 敷地外環境	2.80	2.70	3.00

	平均	最低	最高
BEI	0.75	0.94	0.52

(参考)平成30年度(2018年度)の結果



工場 件数:10

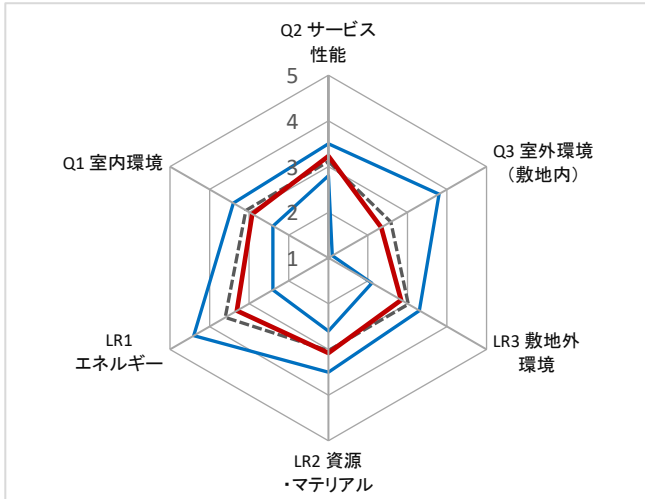
配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	2.59	2.10	3.00
Q2 サービス性能	2.92	2.20	3.40
Q3 室外環境(敷地内)	2.29	1.40	3.00
LR1 エネルギー	3.02	1.60	4.30
LR2 資源・マテリアル	3.05	2.40	4.10
LR3 敷地外環境	2.90	2.30	3.70

	平均	最低	最高
BEI	0.82	1.31	0.22

最大:青線 最低:青線 平均:赤線 点線:全体の平均

**[病院]**

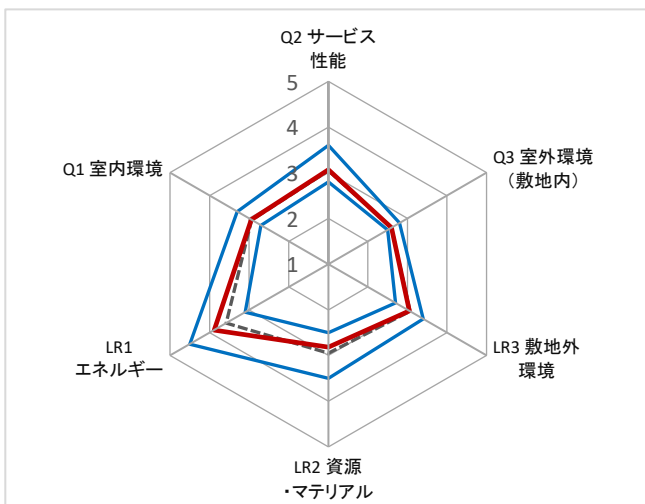
- ・ LR1 エネルギーについて、昨年度に比べ、平均、最高とも 0.5～0.7 ポイント低下している。
- ・ Q3 室外環境(敷地内)について、最低(1.1 ポイント)、最高(3.8 ポイント)と差が大きい。



病院		件数:10		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	2.92	2.40	3.40
Q2	サービス性能	3.23	2.80	3.50
Q3	室外環境 (敷地内)	2.34	1.10	3.80
LR1	エネルギー	3.31	2.40	4.40
LR2	資源 ・マテリアル	3.08	2.60	3.50
LR3	敷地外環境	2.84	2.10	3.30

	平均	最低	最高
BEI	0.81	0.90	0.61

(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果



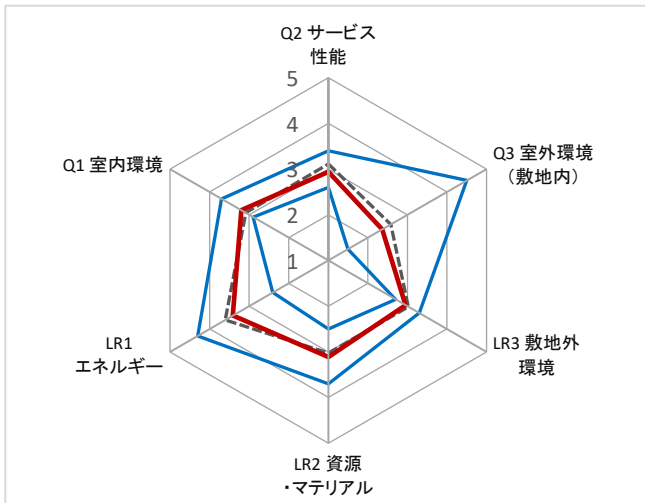
病院		件数:6		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	2.95	2.70	3.30
Q2	サービス性能	3.07	2.80	3.60
Q3	室外環境 (敷地内)	2.60	2.50	2.80
LR1	エネルギー	3.88	3.10	4.50
LR2	資源 ・マテリアル	2.82	2.50	3.50
LR3	敷地外環境	3.05	2.70	3.40

	平均	最低	最高
BEI	0.76	0.84	0.70

最大:青線 平均:赤線 点線:全体の平均

[ホテル]

- ・ Q3 室外環境(敷地内)について、最低(1.5 ポイント)、最高(4.5 ポイント)の差が大きい。
- ・ 昨年度と比べ、LR2 資源・マテリアルについては、標準 3.00 を上回っているが、Q2 サービス性能については、標準 3.00 を下回っている。

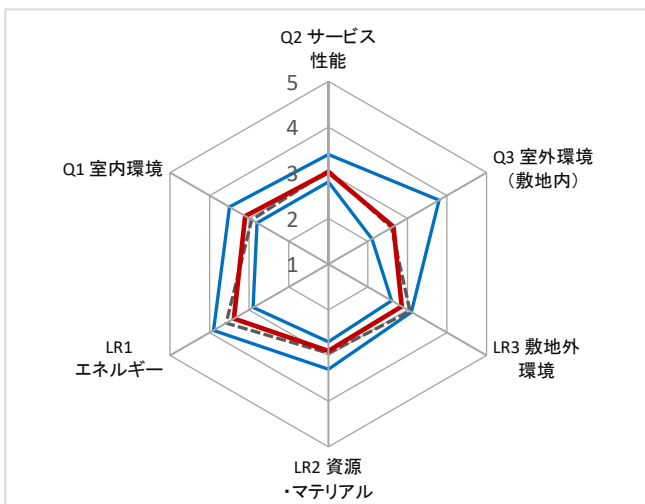


ホテル 件数:15

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.20	2.90	3.70
Q2 サービス性能	2.94	2.60	3.40
Q3 室外環境(敷地内)	2.36	1.50	4.50
LR1 エネルギー	3.41	2.40	4.30
LR2 資源・マテリアル	3.11	2.50	3.70
LR3 敷地外環境	2.95	2.70	3.30

	平均	最低	最高
BEI	0.82	0.96	0.66

(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果



ホテル 件数:7

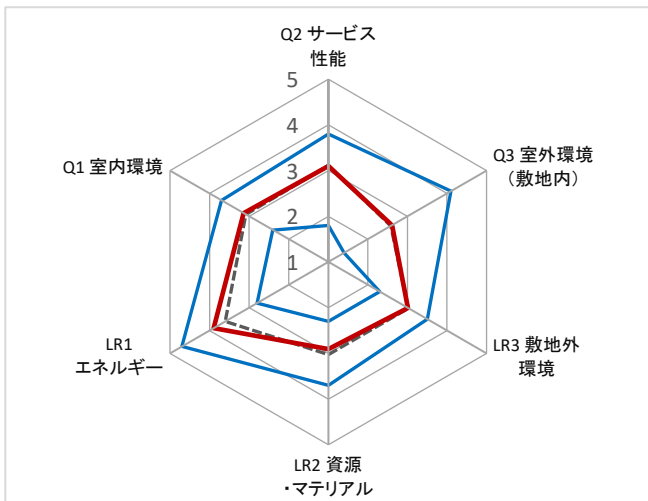
配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.10	2.80	3.50
Q2 サービス性能	3.01	2.80	3.40
Q3 室外環境(敷地内)	2.64	2.10	3.80
LR1 エネルギー	3.39	2.90	3.90
LR2 資源・マテリアル	2.90	2.70	3.30
LR3 敷地外環境	2.86	2.60	3.10

	平均	最低	最高
BEI	0.82	1.00	0.74

最大:青線 最低:赤線 平均:点線:全体の平均

**[集合住宅]**

- ・ Q3 室外環境(敷地内)とLR1 エネルギーについて、評価の差が 1.9~2.7 と大きい。
- ・ LR1 エネルギーについて、全体の平均より 0.3 ポイント高い。

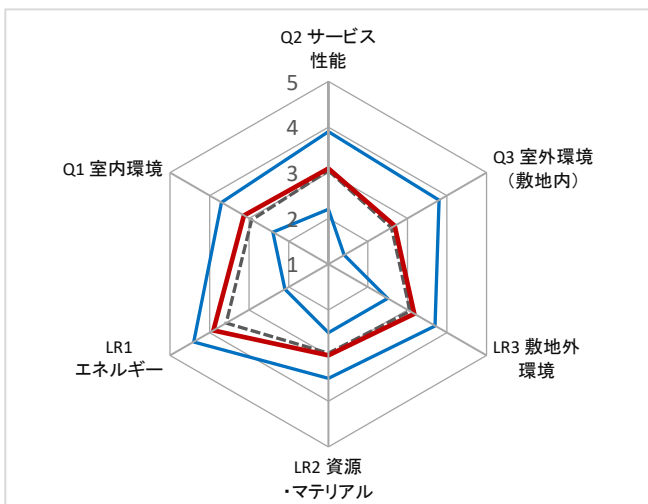


集合住宅 件数:31

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.14	2.40	3.70
Q2 サービス性能	3.10	1.80	3.80
Q3 室外環境(敷地内)	2.61	1.40	4.10
LR1 エネルギー	3.90	2.80	4.70
LR2 資源・マテリアル	2.91	2.30	3.70
LR3 敷地外環境	3.01	2.30	3.50

	平均	最低	最高
BEI	0.86	1.00	0.70

(参考)平成 30 年度(2018 年度)の結果



集合住宅 件数:30

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.13	2.40	3.70
Q2 サービス性能	3.09	2.20	3.90
Q3 室外環境(敷地内)	2.68	1.40	3.80
LR1 エネルギー	3.90	2.10	4.40
LR2 資源・マテリアル	3.00	2.50	3.50
LR3 敷地外環境	3.17	2.50	3.70

	平均	最低	最高
BEI	0.81	1.08	0.58

最大:青線 平均:赤線 点線:全体の平均

(参考)

配慮項目について

Q1 室内環境	建物内の騒音レベルや断熱性能、自然光の利用や明るさの制御、室内空気を良好に保つための換気など、居住者の健康、快適性、知的生産性に大きな影響を与える室内環境についての評価
Q2 サービス性能	建物の執務スペースの広さやバリアフリー対応、耐震性や部材の耐用年数、建物内の設備の更新のしやすさや空間のゆとりなど、建物内の利用者の活動や知的生産性への影響、また建物が永く良い状態で使い続けるための機能性の評価
Q3 室外環境 (敷地内)	建物周囲の緑化確保などや野生生物の生息・創出するための取組、地域のまちなみや景観に対する配慮、集雪場の確保や建築設備の排熱の配慮など、敷地内の屋外環境及び周辺環境に関する環境品質の向上に関する取組の評価
LR1 エネルギー	建物の断熱などの冷暖房の使用エネルギー量の削減の取組、昼光利用などの自然エネルギーの利用、冷暖房設備などの高効率化、エネルギー使用量の計測や運用管理体制などの建物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減させる取組の評価
LR2 資源 ・マテリアル	節水や雨水利用などの取組、建築材料の削減やリサイクル材の使用などの取組、環境に配慮した断熱材(発泡剤)及び冷媒の使用など、建物の建設から解体までのライフサイクルにおける資源・マテリアル消費の低減、及び環境負荷削減へ向けた取組の評価
LR3 敷地外環境	建物の建設・運用・解体で発生するCO <sub>2</sub> (ライフサイクルCO <sub>2</sub> )抑制の取組み、ヒートアイランド化の抑制対策、騒音・振動や光害の対策など、建物及び敷地内から発生する環境負荷が、敷地境界を越えて地球環境、地域環境、周辺環境に及ぼす影響を低減するための取組の評価

BEIについて

BEIとは、標準的に建てた場合のエネルギー消費量に比べ、どのくらい対象の建築物が省エネになっているかを示す値で、1を標準としてより数字が小さいほど省エネということになります。

$$BEI = \text{設計一次エネルギー消費量} / \text{基準一次エネルギー消費量}$$